

## BIND DNS 設定: 4.

# バーチャルドメインのプライマリーゾーン追加(メールサーバレコード)

追加したプライマリーゾーンについて、メールサーバレコードの追加を行います。

下記にて追加したプライマリーゾーンまで移動いたします。

[ サーバ ] [ BIND DNS サーバ ] [ example.com ]

ログイン名: root  
Webmin  
システム  
サーバ  
Apache Webサーバ  
BIND DNS サーバ  
CVS サーバ  
Dovecot IMAP/POP3 Server  
MySQL データベース サーバ  
Postfix の設定  
PostgreSQL データベース サーバ  
Procmail Mail Filter  
SSH サーバ  
SpamAssassin Mail Filter  
Vsfptd  
Webalizer Logfile Analysis  
ユーザ E メールを読む  
その他  
ネットワーク  
ハードウェア  
Cluster  
Un-used Modules  
Search:

View Module's Logs  
システム情報  
Refresh Modules  
ログアウト

モジュール設定

BIND DNS サーバ  
BIND version 9.7.3, under chroot /var/named/chroot

Start BIND  
Search Docs..

グローバル サーバ オプション

他の DNS サーバ  
ログとエラー  
アクセス制御リスト  
ファイルとディレクトリ  
転送  
アドレスとトポロジ  
その他のオプション  
コントロールインターフェイス  
DNSキー  
ゾーン デフォルト  
クラスタースレーブサーバ  
RNDGの設定  
DNSSEC Verification  
DNSSEC Key Re-Signing  
Check BIND Config  
設定ファイルの編集

既存の DNS ゾーン

Select all. | Invert selection. | 新規のマスターゾーンを作成 | 新規のスレーブゾーンを作成 | 新規のスタブゾーンを作成 | 新規の転送ゾーンを作成 | Create delegation zone. | Create zones from batch file.

ルートゾーン  
0  
0000::1  
127.0.0.1  
example.com  
localhost  
localhost.localdomain  
prox.jp

Select all. | Invert selection. | 新規のマスターゾーンを作成 | 新規のスレーブゾーンを作成 | 新規のスタブゾーンを作成 | 新規の転送ゾーンを作成 | Create delegation zone. | Create zones from batch file.

選択したものを削除 | 選択したレコードを更新 | 選択したレコードに追加 | Delete Records in Selected

1. マスターゾーンの編集画面より、[ メールサーバ ]を選択し、下記の情報にてレコードの作成を実施いたします

モジュール インデックス

メール サーバ レコード  
example.com 内

Apply Zone  
Apply Configuration  
Stop BIND

メール サーバ をレコードに追加する。

レコード名  TTL 時間 ☒ デフォルト ☐  秒

メール サーバ  mail.example.com. 優先度  10

作成

ゾーンリストに戻る | レコードの種類に戻る

## BIND DNS 設定: 4.

# バーチャルドメインのプライマリーゾーン追加(メールサーバレコード)

必要となる下記の情報を入力しまして、[ 作成 ] いたします。

レコード名 : 空白

メールサーバ : mail.example.com.

優先度 : 10

メールサーバの内容は、末尾に.**(ドット)**が必要となります。

作成が完了しましたら、[ レコードの種類に戻る ] をクリックいたします。

一意的なソリューション ID: #1018

製作者: Prox System design

最終更新: 2015-06-03 04:31